


| 分類 | 天然繊維 | | 化学繊維 |
|--------|--|--|--|
| 種類 | バンゴロ糸 | 爆砕竹混紡糸 | レーヨン糸(バンブーレーヨン糸) |
| 製造方法 | 天然の竹を開織し、繊維のみを取り出し竹繊維と他の繊維とを混紡した糸 | 爆砕による、竹繊維の開織した混紡糸 | 竹を化学薬品で溶解させ、それを再びセルロース分子に戻すことによって高分子を再集合させて再生した繊維。(ビスコース法) |
| 竹の種類 | 中国四川省からベトナム、ラオス等の分布生息する、細かくて柔らかい慈竹を使用(1年生を使用) また、帆布用糸として国内の孟宗竹も使用可能 | 主に孟宗竹を使用 (3年生ぐらいが良い) | 主に中国慈竹を使用 |
| 繊維の種類 | 天然繊維(バンブーリネン) |  左記と同じ | 化学繊維:再生繊維 (レーヨン) |
| 環境への影響 | 紡績時、有害物質を使用しない為、環境にやさしい | | 紡績時に有害な物質を使用し、大気に汚染物質を排出するため環境にやさしいとは言えない。 |
| 原料の検証 | 製品化されたあとでも、原料となった竹を特定することが可能である。 | | 製品化されたあとに、原料となった竹を特定することが不可能である。 |
| 効能について | 竹本来の機能性(強度に優れ、抗菌作用、抗酸化作用、臭い吸着作用、防臭作用、防音作用など)がそのまま期待できる。 | | 一部製品は残留化学物質によって抗菌性有と表記も、竹そのものの効能が生きているか不透明である。 |
| 効能の持続性 | 洗濯10回後でも持続する。 | | 持続性があるとは言えない。(洗濯10回後には抗菌性等は殆どないとの一部報告あり！) |
| 表示 | 『植物繊維(竹)』と表記可能 | 『植物繊維(竹)』と表記できない ⇒『レーヨン』と表記 昔は竹100%との表記を行っていたが、現在は表記不可(一部中国製品で現在も表記?) | |
| その他 | 最大竹比率80%まで可能で、爆砕方式よりも柔らかく、竹本来の機能性(強度に優れ、抗菌作用、抗酸化作用、臭い吸着作用、防音作用などにも優れる等)を有し、しかも風合い及び染色性にも問題ない繊維製品の提供が可能である。 ・特許:特許第6682220号 ・国際特許:申請中 ・バンゴロ商標:登録第5505520号 登録第5748467号 | 竹繊維が強く、50%以上の竹繊維を混紡した糸は難しい。 生地としての実用面では竹比率10%程度が限界と言われている。 焦げた茶色が残る為漂白工程が必要 | レーヨン以外に『キュプラ』等があるが、いずれも化学繊維(再生繊維)で、環境にやさしいとは言えず、表示に『植物繊維(竹)』を用いることができない。 |